

# 長崎北高等学校創立60周年記念事業について

令和6年11月1日（金）

## <長崎北高等学校創立60周年記念式典・記念講演会>

10月25日（金）14時から本校体育館において、創立60周年記念式典・記念講演会が行われました。在校生や教職員、同窓会やPTA関係者など約800名が節目を祝いました。

式典に先立ち、オープニングセレモニーではオーケストラ部による「管絃樂の爲のコッコデショ〜改訂版〜」（酒井健吉作曲）の記念演奏を行い、あわせて創立50周年から10年間の学校行事等をスライドショーで振り返りました。

記念式典では猪股英介校長による式辞のあと、川原強同窓会長、二宮誠創立60周年記念事業実行委員長の挨拶と続きました。在校生を代表し、生徒会長の田浦哲平さん（2年）が、「北高の更なる飛躍のために、失敗を恐れず勇気を振り絞って、自分の強い意志を周りへ発信する力である『アクション』を起こす必要がある」と挨拶をしました。

記念式典に続き、記念講演会では本校35回生の大石賢吾様に「人間万事塞翁が馬〜私のターニングポイント〜」と題し、本校進学を決断した経緯から現在に至るまで、エピソードを交えながらお話しいただきました。また、「志を高くすること」「決して諦めないこと」「後悔しない決断をすること」の大切さを伝えていただきました。大石様からいただいたエールを私たちの今後の生活に活かしていきたいと思えます。

60周年記念事業ですが、今までに、制服改定、3月に実施した台湾への海外派遣、9月の記念体育祭、そして今回の記念式典・記念講演会などを行ってきました。今後、記念誌の発行、学校ホームページのリニューアル、来年3月の記念文化祭と続いています。

記念式典・記念講演会では多くの方々にご来場いただきました。また、記念事業を実施するにあたり、全国各地より多くのご支援ご協力を賜りました。本当にありがとうございました。

創立60周年という節目にあたり、これまでみなさま方が築き上げてくださった伝統を引き継ぎながら、新しい長崎北高を創りあげていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。



